

# 令和3年度第2回 大阪市イノベーション促進評議会資料



# 1. 背景（大阪産業局事業交付金について）

## 事業内容

大阪・関西の強みを活かし、イノベーションやスタートアップが次々と創出され成長する環境の整備・向上を図る

## 目的

本市の産業の発展と地域経済の活性化を図る

## 令和3年度からの事業手法の見直し

スタートアップが必要とする施策や事業を機動的に立案・実行していくため、行政職員が仕様を定める委託事業から、事業者が自主的・弾力的に業務遂行することが可能となる交付金事業へ見直しを行った。

## 交付金化によるメリット

この見直しにより、単年度主義に陥らない支援、時流にのった即時的支援を実施している。

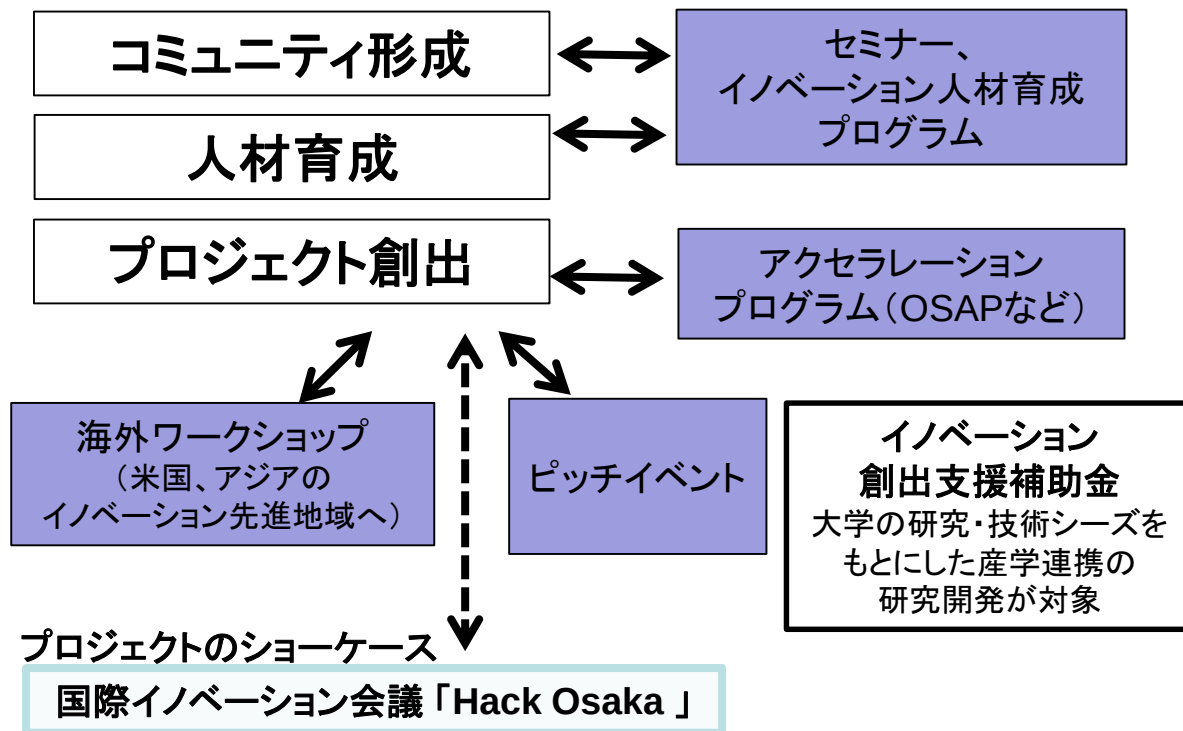
## 事業の流れ

- ・大阪市が本市における中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして指定する公益財団法人大阪産業局に対し、交付金を交付。
- ・大阪市が設定した目標（9ページ参照）に対して、大阪産業局が事業計画書を作成し、交付申請書とともに大阪市に提出する。
- ・大阪市は当該申請の内容を審査し、交付金の交付決定をする。

# 1. 背景（大阪市のイノベーション創出支援の体系）

## 大阪市イノベーション創出支援事業

（OIHを中心として実施）



連携

国(内閣府等)

大学

大阪府

京都

ひょうご神戸

経済界

など

京阪神

大阪・関西におけるイノベーション・エコシステムの構築  
スタートアップの創出・成長

## 2. 前回評議会での主なご意見

### 【スタートアップのニーズ等の把握】

- ・ スタートアップがエコシステムに求めるものを把握すれば、支援の方向性が明確になる。

### 【情報発信】

- ・ スタートアップの成長段階やニーズを分析し発信すれば、海外から大阪に支援者等が集まるきっかけになる。
- ・ バイオなど得意分野に絞った発信により、エコシステムの魅力が伝わりやすくなる。
- ・ 関西全体のエコシステムのポテンシャルを示し、その中で大阪の位置づけを「見える化」して発信すると良い。

### 【資金・メンタリング】

- ・ スタートアップに先行投資する大企業が増える必要がある。
- ・ エコシステムの成長のため、資金やメンタリングがどんどん入ってくる必要がある。

### 【スタートアップ・イノベーターの育成】

- ・ 関西はスタートアップがまだ少ないので、すそ野を広げる取組が重要。
- ・ グローバルに活躍するスタートアップをつくるためのイノベーター育成が重要。

### 【支援プログラム】

- ・ ターゲットを絞り、1社を花開かせるプログラムが必要。
- ・ 産業分野ごとのプログラムなど、スタートアップが自分たちに合った内容か判断できるようにすること。
- ・ 目標に万博で活躍できるスタートアップ輩出とあるが、産業的な括りができるとスタートアップも集まりやすい。

### 3. スタートアップ・エコシステム拠点都市について

- 国は、シリコンバレーやニューヨークのように世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点の形成と発展をめざし、スタートアップや支援者の一定の集積と潜在力を有する都市において、地方自治体、大学、民間組織等が策定するスタートアップ・エコシステム拠点形成プランを公募。
- 拠点に選定された都市には、関係省庁等が一体となった集中支援を実施。
- 大阪は、京都、ひょうご神戸と連携して「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」として申請し、「グローバル拠点都市」に選定された。

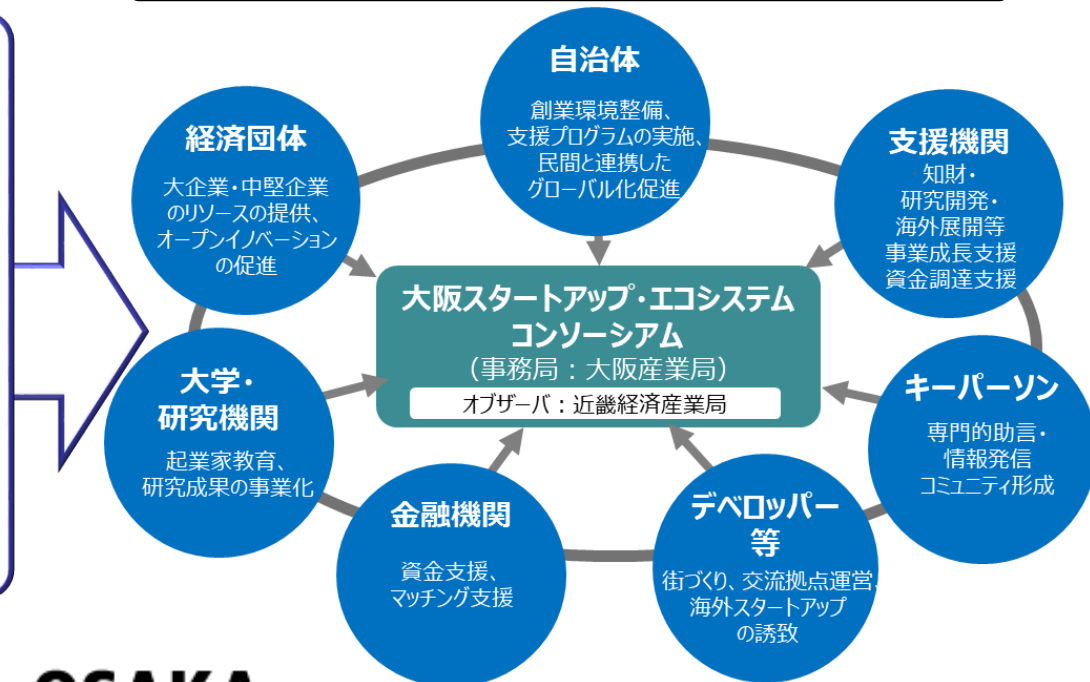
・グローバル拠点都市 東京・横浜等、名古屋・浜松、**京阪神**、福岡の 4カ所  
・推進拠点都市 札幌、仙台、広島、北九州の 4カ所

#### 拠点都市に対する 国の支援策

令和2～4年度の3年間を重点支援期間とする。

- ・JETRO ⇒ 海外トップアクセラレーターによる  
**アクセラレーションプログラム**
- ・文科省 ⇒ **大学発新産業プログラム**  
(SCORE・START)
- ・経産省 ⇒ **産学融合拠点創出支援事業**
- ・内閣府 ⇒ 政府系の9機関から成るスタートアップ  
支援機関プラットフォーム(Plus)に  
よる支援策の提供  
⇒ 各拠点都市間での**ネットワーク拡充**と  
**ベストプラクティスの共有** など

#### 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム



**OSAKA  
STARTUP ECOSYSTEM**

# 4. エコシステム構築（① 大阪の取組み）

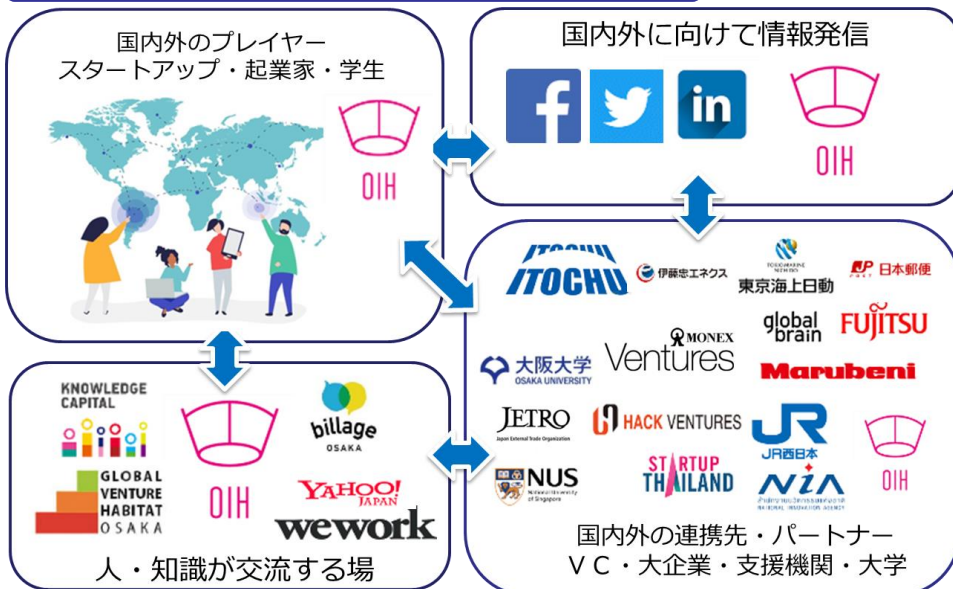
## 大阪のエコシステムの特徴・環境

他都市に先駆けてスタートアップ育成に取り組んできた。

- 大企業、大学・研究機関の集積（シーズ、人材の宝庫）
- ライフサイエンス、ものづくりでの強み（産業分野の優位性）
- 先輩起業家が後輩を育てる強固なコミュニティが存在

- 他都市にはない大規模プロジェクトの存在  
（2025大阪・関西万博、うめきた2期、スーパーシティ）

## OIHが拠点となりエコシステムを構築



- ◎ ピッチコンテスト
  - ◎ Open Innovation（スタートアップ×大企業）
  - ◎ 海外ワークショップ
  - ◎ アクセラレーションプログラム（OSAPなど）
  - ◎ ハッカソン、アイデアソン
  - ◎ 産学官連携
- など年間200本を超えるイベントを通じてスタートアップの創出・成長を支援。

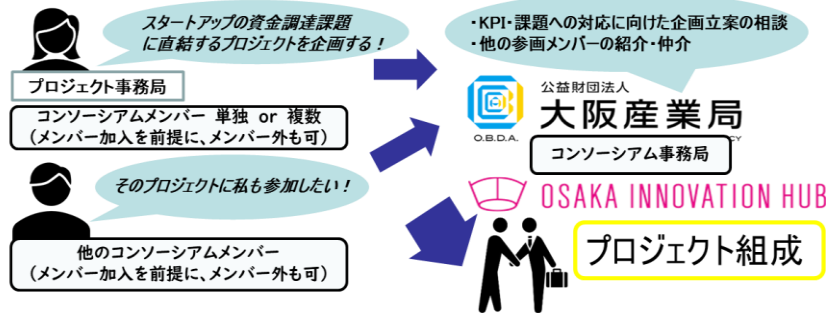


## 大阪コンソーシアム独自の取組み

### 大阪スタートアップ・エコシステム事業プロジェクト「O-S T E P」

#### -課題解決に資する企画、プロジェクトを提案募集-

- ◎ 「創出」「資金調達」「人材確保」「顧客開拓」「情報発信」等の課題
- ◎ コンソーシアムメンバーがプロジェクトを提案
- ◎ メンバー間や事務局との連携で、コンソーシアム全体として支援、解決



# 4. エコシステム構築（② 京阪神連携）

## 大阪・京都・ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム連携の取組み

### ◎ 京阪神スタートアップが語る海外アクセラレータからの学びとススめ R3.7/15

- ・R2年度のプログラムに参加した京阪神のスタートアップが、**後輩に対して**  
**メリットや活用方法、成果を共有**。令和3年度のプログラムへの参加を促す。

### ◎ 海外アクセラレータープログラム採択企業「京阪神スタートアップMeetup」

R3.12/21 リアル（OIH）/ オンラインのハイブリッド開催

- ・R3年度のプログラムに採択された京阪神のスタートアップが  
**プログラムの特色や内容のフィードバック等を共有**し、効果の拡大を図る。
- ・参加企業間の連携を促し、**海外展開をめざすスタートアップのコミュニティを形成**。



京阪神スタートアップMeetup

## 経済界・民間の取組み

### 【KANSAI FUTURE SUMMIT】

- ◎ **関西のスタートアップが自ら企画・運営**
- ◎ 関西を「世界に認知され世界と繋がる  
イノベーション地域」にすることをめざす。
- ◎ 「業界初・業界一など面白い人たちの  
ネットワーク」を構築。

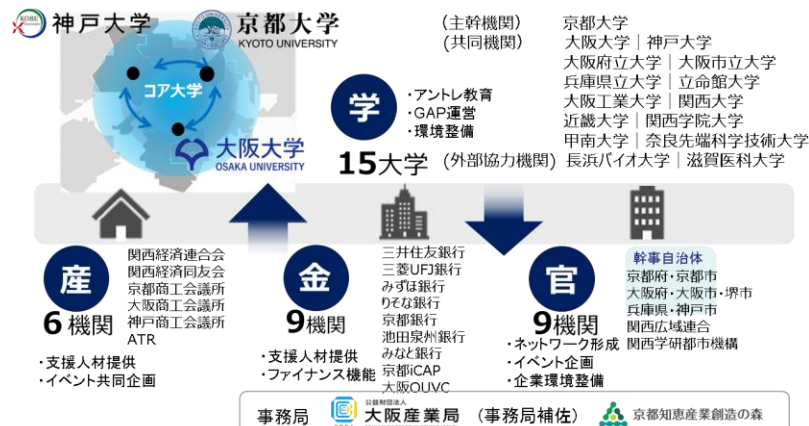
開催地：大阪(2019)、京都(2020)、神戸(2021)



## 産学官連携・大学発の取組み

- ◎ **大学発の技術シーズの実用化、アントレプレナーシップ人材の育成を支援**
- ◎ 社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築  
⇒ コロナ後の社会変革や社会課題解決につながる
- ◎ 関西地域の15大学と、産業界、金融界、官公庁の41機関が参画
- ◎ 国の大学発新産業プログラム（SCORE・START）を活用

【P.13のKSAC参照】



## 5. 令和3年度の取組み

### グローバル展開支援

- ◎ コロナ禍によりスタートアップ単体としては海外展開が困難に
- ◎ オンラインによるイベント開催やマッチング機会の提供により支援（対面の交流では得られなかった新たな連携先の開拓やネットワーク拡大をめざす）

#### 台湾スタートアップテラス「アグリテック・ピッチイベント」

日本側登壇企業のうち2社が台湾企業との面談を実施。



### 国際イノベーション会議 Hack Osaka 2022

- ◎ 2025年の大阪・関西万博に向けて、実証実験が進む次世代航空モビリティや、まちづくりに欠かせないインフラに着目
- ◎ 大阪のエコシステムを世界に紹介し、**世界で活躍するスタートアップに対する大阪の吸引力の向上**をめざす

#### 概要・実施状況

- ◎ 開催日時：令和4年2月10日（木）13:00～18:30 ※ 商談会 2月8日（火）、9日（水）
- ◎ 開催手法：リアルとオンラインの**ハイブリッド形式** ※ **参加者は803人**
- ◎ 主な内容：①テーマセッション：『**大阪から始まる次世代の移動 人がもっとつながる未来へ**』（SkyDrive、ティアフォー、大阪産業局）  
：『**産学融合の聖地 大阪・関西を目指して**』（大阪ヒートクール、Human Hub Japan、KSAC、KSII）
- ②リバーспitch：**大阪・関西を代表する企業の共創ニーズ、フォーカスする分野とは**（川崎重工業、ダイキン工業、南海電気鉄道、日本国際博覧会協会）
- ③ピッチコンテスト：**世界各国のスタートアップ10社が登壇**（テーマ：Future Society、分野：次世代航空モビリティ、インフラ）

※ 商談会：海外スタートアップ14社と大阪・関西の企業・投資家等の**マッチング（45件）**



## 6. 数字で見る成果

### 大阪スタートアップエコシステム・コンソーシアムの目標

| KPIの項目      | 大阪の目標                      | 数値           | 達成状況<br>(令和3年7月時点) |
|-------------|----------------------------|--------------|--------------------|
|             | 期間は 令和2年7月～令和7年3月          |              |                    |
| スタートアップの創出  | ◎スタートアップの設立件数              | 300社         | 99社                |
|             | ◎うち 大学発スタートアップの設立件数        | 100社         | 44社                |
| スタートアップの成長  | ◎ユニコーン輩出件数                 | 3社           | 0社                 |
|             | ◎5億円以上調達のスタートアップ件数         | 75社以上 ←当初50社 | 59社                |
| 起 業 家 の 聖 地 | ◎外国人起業家の誘致件数               | 20社          | —                  |
|             | ◎スタートアップVISAの活用数           | 30者 ←当初3者    | 8者                 |
| スタートアップの活躍  | ◎万博を契機に活躍するスタートアップ<br>輩出件数 | 50社          | —                  |

### 大阪市イノベーション創出促進事業の目標

コンソーシアムの目標達成のため、  
大阪市事業として次の目標を設定

| 目標                  | 数値              | 達成状況<br>(令和4年2月末時点) |
|---------------------|-----------------|---------------------|
| 新たなプロジェクトの創出・推進支援件数 | 400件以上（令和3～7年度） | 候補80件程度             |
| スタートアップ等における資金調達額   | 80億円以上（令和3～7年度） | 81億円                |

※令和2年度以前に支援した企業が新たに資金調達した額を含む。